

第2次丹波市環境基本計画(案)に関するパブリックコメントの結果について

パブリックコメントの実施状況

(1)意見の募集期間

平成28年12月28日(水)～平成29年1月27日(金)

(2)意見の応募者数及び件数

応募者数 1名 件数 1件

No.	該当頁	意見・提案の内容	市の考え方
1	-	<p>いつもお世話になっております。 人口減少や街づくりに興味と懸念を持っており、意見を述べさせていただきます。</p> <p>【意見】 ＜気になっていること:計画性のない住宅地の増設＞ 田んぼを埋め立てた家屋に住んでおりますが、隣をトラックが通過するたびに揺れて、土地の脆弱性を感じられ、長く住むのは難しいと感じるところです。こういう土地が多く販売されているのを見るたびに、不安を感じます。また、車一台が通るのがやっとの細い道も多く、健康のために散歩するのも危険なほどで、団塊世代の移住にも懸念を抱かれるのではないのでしょうか。ましてや子供の通学にも危険を伴うことから、教育に関心のある若い世代が移住するには難しい土地ではないかと考えます。</p> <p>【提案】 ・丹波市全体を考えるのは難しいので、まずはターゲットを定めて、柏原駅周辺の空き家・使われていない施設を調査・買い取りし、歩道・住宅地の整備を行ってはいかがでしょうか。消防車や救急車が停車しても安全な街を、駅周辺から計画していただきたい。</p> <p>・古い街並みは旧市街であった名残をアスファルトに色で示すなど、歴史的価値も残すことで、観光や歴史学習にも役立つ。</p> <p>・「住宅地は車が2台通過できる道路に面していること。歩道があればなおよし。すでに条件を満たしている住宅は資産価値を上げる」など条件を付けることで、今後田畑を売り払う方がいても、安全な土地開発ができるのではないかと考えます。なお、田畑を売り払う前に、市が歩道分の面積を買い取っていただきたく、市の許可を取る形にできないものでしょうか。</p>	<p>丹波市では国の地方創生に向けた大きな潮流の変化を踏まえ、人口減少を抑えつつ、活力ある地域を維持していくための方向性や具体的施策を展開するため、「丹波市人口ビジョン」「丹(まごころ)の里創生総合戦略」を策定しています。</p> <p>また、ご意見いただいた移住に関することにつきましては、「第2次丹波市総合計画」において『誰もが住みたい定住のまち』をまちづくり目標とし、交流・定住を促進するため、土地利用の適正化、ごみ処理、景観形成などに、安全で快適な道路整備や公共交通の利便性の向上、河川、上水道、生活排水の一体的な水環境対策なども進め、誰もが住みたい定住のまちをつくることとしています。</p> <p>ご提案いただいたそれぞれの内容についても、さまざまな分野に及ぶものと考えます。多様な施策展開は重要であると考えますので、ご意見として拝聴し、丹波市空き家対策計画、丹波市中心市街地活性化計画、丹波市都市計画マスタープラン、丹波市道路整備計画等に基づき検討をさせていただきます。</p>